

科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもの理解と援助			科目コード	26Y406	担当者	小槻 智彩			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、保育・教育の場における子どもの理解と援助について授業を行う。								科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	保育・教育の基本である子ども理解の意義や重要性について理解し、乳幼児の発達にあわせながら育ちを支える保育者の基本的姿勢・具体的方法と援助について学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドを使用した講義形式を基本とする。受講生には教員が作成した授業資料を配布する。受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。一部の回では、ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	一部の授業回において受講生は授業前に各自で事例の検討を行い、その内容に基づいてグループディスカッションを行う。また、ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。授業内容の振り返りを行うために、毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	子どもの理解の意義と重要性	事前：保育・教育の場で子どもを理解する意味について自分の考えをまとめる。 事後：子どもの理解の意義と重要性について要点をまとめる。	
第2回	乳幼児期の子どもの発達過程、生活と遊び	事前：乳幼児期の発達の特徴について確認する。 事後：乳幼児期の子どもの発達過程、生活と遊びについて要点をまとめる。	
第3回	子どもの理解をするための保育者の基本的姿勢	事前：保育者の姿勢について自分の考えをまとめる。 事後：子どもの理解をするための保育者の基本的姿勢について要点をまとめる。	
第4回	子ども理解の方法①：「個」と「集団」の捉え方	事前：保育・教育の場における「個」と「集団」について自分の考えをまとめる。 事後：「個」と「集団」の捉え方について要点をまとめる。	
第5回	子ども理解の方法②：観察と記録	事前：保育・教育の場における観察と記録の意味について自分の考えをまとめる。 事後：観察と記録について要点をまとめる。	
第6回	子ども理解の方法③：子どもの葛藤やつまずき	事前：子どもの葛藤やつまずきに関する事例を検討し自分の考えをまとめる。 事後：子どもの葛藤やつまずきについて要点をまとめる。	
第7回	特別な配慮が必要な子どもの理解と援助	事前：特別な配慮が必要な子どもの事例を検討し自分の考えをまとめる。 事後：特別な配慮が必要な子どもの理解と援助について要点をまとめる。	
第8回	保護者との情報共有	事前：保護者と情報共有することの意味について自分の考えをまとめる。 事後：保護者との情報共有について要点をまとめる。	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	教科書は使用しない。授業ごとに教員が作成した資料を紙媒体または電子ファイルで配布する。	受講生へのメッセージ	子どもを理解しようすることは保育・教育の基本です。子どもの育ちを支える保育者の基本的姿勢・具体的方法と援助について学びましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	新しい保育講座3 子ども理解と援助/高嶋景子・砂上史子/ミネルヴァ書房、シリーズ・知のゆりかご なぜ?から探る子ども理解と援助/青木 紀久代/株式会社みらい、こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房		

評価基準																
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点学修成果の 比率(%)	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル1 (F:59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	80			80			子ども理解のための保育者の基本的姿勢・具体的方法と援助について理解し、説明できる。	基礎的知識	レポート課題 授業内課題(ミニツ ペーパー)	子ども理解のための姿勢・方法と援助に関する基礎的事項を十分に理解しており、他者に説明できる。	子ども理解のための姿勢・方法と援助に関する基礎的事項を十分に理解しており、他者に説明できる。	子ども理解のための姿勢・方法と援助に関する基礎的事項をある程度理解しており、他者に説明できる。	子ども理解のための姿勢・方法と援助に関する基礎的事項をある程度理解しており、他者に説明できる。	子ども理解のための姿勢・方法と援助に関する基礎的事項の理解が不十分であり、他者に説明できない。
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力	20					20	自分の考えを説明し、相手の考えを十分に理解して、討議することができる。	話す力 聞く力	グループディスカッション	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することを十分にしながら、積極的に討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することを十分にしながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することをある程度行いながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することをある程度行いながら、討議することができる。	自分の考えを説明することと相手の考えを理解することを行えず、討議することができない。
	実践	⑨ 主体性														
		⑩ 協働性														
合計		100			80		20									